

## 北小野地区

日付：令和5年7月25日（火）

場所：北小野地区センター

会場：24名 オンライン：8名

出席者：市長 企画政策部長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係1名 デジタル戦略課1名 計画係1名

### グループごとの発言

#### ■ グループ①

- ・ 最初に、マスタープランというのがあまりなじみがないため、話を聞いたときにずっと頭の中に入りづかったというのが正直な意見だった。
- ・ 北小野の強みは、車社会の今、車があれば、松本圏、岡谷、伊那、と基本的にはどこにでもすぐ行ける、アクセスは良いという面がある。
- ・ ただ、逆に言うと、高齢者や車のない人にとっては弱みになるので、足の確保は重要ではないか。市にお願いしたいのは、今運行していただいている振興バスやのるーとの運行地域の拡大である。
- ・ 地域の役員の負担、自治会等のあり方について市でも検討されていると聞いている。これも結構役員があり、勤めをされている方にとっては結構負担になっていると聞いている。これについてはもうちょっと省略できるのかな、というようなところについても、地域から言い出すのはなかなか言い出しづらいところもある。市である程度音頭を取っていただき検討していただきたい。
- ・ それから介護、医療、これは365日24時間、現場は休めない。人員が不足しているので、この辺の対策として市ができる最大限の対策をもう少し取り組んでいただいたらいいのかなと思う。これは市だけでなく、国全体の問題でもあるが、市は現場として具体的に何ができるのか、ということを検討していただきたい。
- ・ これは個人的な考えだが、マスタープラン等を立てられる時には、4つの方向から考えていただきたい。  
1つ目は「人、人事」それを担当する人としてどういう人を据えるか、どういうふうに育てるか。  
2つ目は「情報」今は情報が溢れている。いろんな情報を取り入れていただき、塩尻市の特色があるマスタープランを立てていただきたい。  
3つ目は「実際に実施する計画」これらをより具体的な計画を作っていただきたい。問題点、対策をよく検討していただいて、それに基づいてやっていただく。  
4つ目は「金」これが一番問題。だから計画を立てるときには、必ず金の裏付けがないと机上の空論になると思うので、たくさんやることある中で優先順位をつけていただき、それぞれの地域の皆さんの要望も聞きながら、と非常に難しい問題だと思うが、また一つよろしく願いたい。

#### ■ グループ②

- ・ 地区の強みは、緑豊かな山村や、ゆとりのある住宅地。都市部に比べて、各家庭の敷地が広いのでゆとりがある生活ができる。また、空き家があるため移住者を受け入れやすい環境にはある。
- ・ 弱点は、公共交通機関が少ないところ。また、冬が特に北小野地区は寒くて厳しい。買い物する場所がない。車を運転できる方は松本方面、岡谷方面、伊那方面に行けるが、北小野地区にはいわゆるスーパーマーケットのような買い物をする場所が1つもなく、交通弱者は困ってしまう。
- ・ 冬季の交通障害、特にR153号の善知鳥峠の交通障害は、大きなトラックが事故を起こすと通行止めの期間が他の地区よりも長く感じる。
- ・ 各地区に暮らしている若者が、大学進学等で外に出て就職すると、Uターンして戻ってくる方が少ない。戻ってきて3世代くらいのある家庭もあるが、特に私が住んでいる勝弦地区ではほとんどが戻ってこない。どんどんどんどんお年寄りだけになっていってる感じがする。
- ・ 地区の課題については、高齢化による人口減。先ほど言ったように65歳以上の人間ばかりになっていて、何とかしなければいけない。年齢とともに運転免許証を返納した交通弱者を守っていただきたい。のるーと等の拡大をお願いしたい。

- ・ まちづくりの目標は、空き家にならないためにも移住・定住者をなるべく受け入れるようにする政策で、外部から人を集めていただきたい。
- ・ 勝弦地区に関しては、小野地区との連携でまちづくりを。勝弦はどうしても北小野の中でもちょっと浮いた地域になっているのでその辺を何とか助力していただきたい。

#### ■ グループ③

- ・ 強みとしては、御柱祭が終わったばかりだということで、これは非常に大きな強みで、神社があってそこに来ていただける方は、地区外の方でもウェルカム。当然、地区内は連帯感があって、その練習をするが、お祭りのときには市長をはじめ皆さんが楽しんでいただける、というこのお祭りの形式、あるいは文化財、それから霧訪山に日本中から来ていただける、そういう強みを、ぜひ塩尻市の宝として小野地区をもっとPRしていただきたい。塩尻市の方々が草刈りに来ていただいて周辺整備をしていただいてもいいし、そういうところで活用していただきたい。移住・定住の方も住みやすい、そういう風土だと思っている。
- ・ ただ一点その強みの中で感じているのは、やっぱり空き家が増えていて、荒廃していく山、里。今まで何十年、何百年もかかって整備され、開発されたところが10年、20年たてば荒廃して住めないところになってしまう可能性もある。
- ・ 松くい虫対策や、エネルギーの自活という話も出たが、太陽光を含めて塩尻市は非常に条件がいいところで、森林資源もある。これは個人的な意見だが、そこで炭焼きのように燃やして発電して、使える。その技術が開発できれば、日本中世界中に売れると。それをそういったところへの投資など、何かアピールできるものを作ってほしい。Fパワーがあってあまり書けないということもあるかもしれないが、それは置いておいて、北小野中心として書いてほしい。

#### ■ グループ④

- ・ 強みと弱みについて、私が3年前に東京からUターンで戻ってきて感じていることで、一番いいのは、夏が非常に過ごしやすいという点。ただ、逆に冬が非常に厳しいと。これをどうするかという課題がある。
- ・ それから、隣近所含めて人との繋がりが非常に強く、地域を支えているというのは非常に良い面。その反面、残念ながら地域の役割が多くて、その担い手が減少してるところは日々感じている。
- ・ もう一ついいのは、都会の人が聞いたらうらやむような歴史がある。それから古田晁など非常に文化もある。土地、霧訪山をはじめとした全国に誇れるような自然がある。ただ残念ながら、来ていただいた方がその後ゆっくり食事をしていただくような、食べる場所がない。それから流した汗を洗うような温泉施設みたいなものもなく、素通りしている。
- ・ 地域の人が買い物をする場所がないというのは、地域の弱い点、課題かなと思う。
- ・ そういう中で課題について言うと、遊休農地が非常に増えていて、手が入ってない田畑が非常に増えてきていることが目につく。
- ・ まちづくりの目標は、この地区では例えば遊休農地をどれだけ減らせたのか、空き家をどれだけ減らせたのか、ということも1つの数値目標になるだろうし、信濃特産のそばが食べられる、買い物をできる場所が増える、温泉施設などが増える、ということも考えられないか。
- ・ 温泉施設を作ってくれということではないが、伊那谷の各市町村は第3セクターを含めて非常に温泉施設が多い。辰野町は3ヶ所、箕輪町、南箕輪村、伊那市すべてに温泉施設があり、岡谷市も2ヶ所ある。私は辰野町の一番北にある川島のかやぶきの館というところに農作業で汚れた時に行くが、かやぶきの館の常連客は辰野町の人よりも塩尻市の人が多い。塩尻市と言っても北小野の人ではなく、東山、大門、中町の方も来ている。実は市議員の方も2名常連の方がおられる。作ってほしいということではないが、検討する場面があれば、ぜひ検討していただきたい。冬の厳しい寒さの温度を1度上げると免疫力は2割上がると言われるが、過ごしやすくすることなのでお願いしたい。

#### ■ グループ⑤

- ・ 欠点というか短所というのか地区の課題はもう山ほどあり、今までの話にも出てきた通りだが、プラスの面を積極的に考えた方がいいのではないかと、という点だけ2つ3つお話しさせていただく。
- ・ 意外と通勤するには不便がないのではないかと。これは公共交通のことが絡んでくるかと思う。

- ・ もう一つ、人口が少ないことは基本的にはマイナスと言われるが、必ずしもマイナスではない面もあるのではないかと。例えば、教育一つとってみても、部活動だけはどうにもならないところはあるが、規模が小さい方が良い面もたくさんある。人口が減っていることすべてがマイナスみたいな捉え方はしない方がいいと思う。

- 
- ・ 霧訪山や小野神社のことももちろんだが、この豊かな文化や自然・土地を生かしたPRが足りないと思うので、そういう面で力を入れていけたらと思う。

---

#### ■ グループ⑥

- ・ 生活をしていてどんなことが一番困るか、というところから、とにかく一番盛り上がったのは北小野地区にはお店がないという部分。コンビニエンスストアが1件あるが、生鮮食品のような商品はない。昔あったような農協の生活センター並みとはいかないが、もう少し小さくてもいいからスーパーのような1ヶ所で食品とちょっとした生活用品が購入できる店があればいいな、というのが一番出た意見。

- 
- ・ 災害対策という点も課題があると思う。今のところ大きな災害も人的な災害もなくて幸いだ、大きな災害が出て陸の孤島になるということが、何回か今までもあった。そういうところを解決していければありがたいかなといったところが主な意見だった。
- 
-